

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	教育実習		
英文授業科目名	Teaching Practice		
開講年度	2009年度	開講年次	4年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法	講義・演習	単位数	
科目区分	教職科目-教育実習-		
開講学科・専攻	量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	矢嶋 昭雄		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
授業中に伝える	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>この授業は、本年度教育実習を行う上での必修科目です。</p> <p>(a) 主題：これまで「教職に関する科目」「教科に関する科目」で学んできたことを実践的な観点から見直し、中学校・高等学校で教育実習を行うために具体的な事前準備を行いながら、自己の研究課題を設定する。また、教育実習後に総括を行い、その成果と課題を整理する。</p> <p>(b) 達成目標：?@教育に対する心構えや生徒に対する理解と愛情を深める。  ?A観察や参加の方法、記録の方法を知り、それらをもとに授業構成の方法を身につける。  ?B教育実習を通して、教職と自己に対する認識を深め、自分の進路について深く考える。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
「教職に関する科目」で免許状を取得しようとする教科の教育法（例「数学科教育法」）

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
「教職に関する科目」で、取得すべき単位すべて

<b>【教科書等】</b>
特に指定しません。必要な資料は、授業で配布します。また、参考となる文献や資料についても授業で紹介します。

## 電気通信大学 平成21年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

教育実習の事前に7回、事後に2回の授業を行います。ただし、受講者によって教育実習の期間が異なるため状況に応じて対応したいと考えています。

1. 授業ガイダンス：授業の進め方、評価の方法、教育実習の心得など
2. 事前指導?@：授業観察・記録の方法
3. 事前指導?A：授業観察・記録の分析
4. 事前指導?B：授業構成の方法～教材研究・学習指導要領
5. 事前指導?C：授業構成の方法～学習指導案
6. 事前指導?D：授業運営の方法～発問、板書、指名、机間指導
7. 事前指導?E：研究課題の設定
8. 事後指導?@：教育実習の成果と課題～概要報告
9. 事後指導?A：まとめ～教職と進路

### 【授業時間外の学習（予習・復習等）】

授業以外の時間で、学習指導案の作成やレポートなどを課すことがあります。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

この授業は、教育実習中の“勤務”に準じますので、全ての授業に出席することを原則とします。やむを得ない事情により欠席する（した）場合は、必ず理由等を申し出てください。

試験は行いません。成績評価は、出席の状況、授業に対する関心・意欲・態度、レポートへの取組状況と内容などに、教育実習校からの報告内容を加味して行います。

### 【オフィスアワー：授業相談】

質問や相談がある場合は、事前にメールでその旨を申し出てください。メールアドレスについては、授業でお知らせします。

### 【学生へのメッセージ】

教育実習は、実習校の教職員、生徒、保護者など多くの方々の理解と協力の上に成り立っていることを十分理解し、感謝の気持ちを忘れずに臨むことが大切です。教育現場で過ごす時間は数週間と短いですが、あなた方一人ひとりが将来を考えるにあたって大きな経験となるに違いありません。有意義な教育実習となるよう、この事前事後指導に前向きにとり組んでください。

### 【その他】

なし